


## がん教育実施報告書

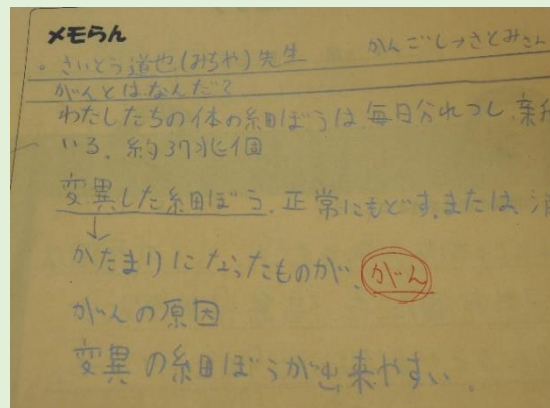
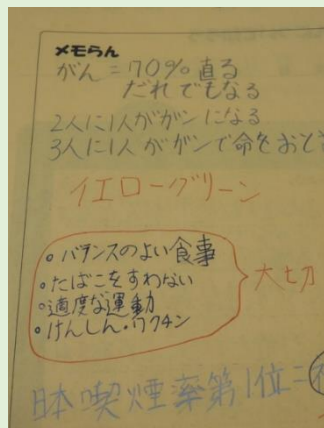
学校名	郡山市立安積第二小学校
実施対象者 (学年・保護者など)	5年生(67名)
教育課程の位置 づけ	学級活動
実施日時	令和6年1月17日(水) 10:25~11:10
打合せについて	【1回目】方法:電話 内容:学習内容、会場、PC、ケーブル等準備物、駐車場、車台数 児童の 事前アンケート結果送付について 等
	【2回目】方法:電話 内容:道路の積雪状況、到着が遅れた場合の対応 等
外部講師 職・ 氏名	医師 齊藤 道也 様(みちや内科・胃腸科) ※アンケート調査実施:看護師 西郡里美 様(福島労災病院)
実施内容	<p>【めあて】</p> <p>(1) がんについての正しい知識(予防できること、早期発見によって治癒する可能性が高いこと)を理解する。</p> <p>(2) 健康と命の大切さについて考えることができる。</p> <p>【指導過程、授業の様子】</p> <p>(1) 「がん」とはどのような病気か(原因、どこにできるか、治療など)</p> <p>(2) 「がん」の対策(生活習慣、特に喫煙とその影響を重点的に)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 喫煙、受動喫煙、イエローグリーン運動、電子たばこの理解、3つの対策(たばこ、子宮頸がんウイルス、検診) 他</li> </ul> <p>(3) 健康と命の大切さについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ がんにかかった人との接し方、自分にとって大切な人へ、「がんにかからないためのメッセージ」を考え、伝えること 薬物依存の入り口としてのたばこ</li> </ul>
	



【児童の感想より】

- 女性ががんにかかる人数は少ないけれど、30才頃からかかる可能性があるの  
 しっかりと対策をして、健康にすごしていきたいと思いました。(女子)
- タクシーなどに「イエローグリーン」のシールをはって、たばこをやめるよう呼びかけている。こんなにCMとかで呼びかけているのにやめられない人がいるんだなあ、少し  
 悲しい気持ちになりました。(男子)
- がんは治るか率が低いものだと思っていたけど、70%は治ることを知っておどろ  
 きました。(女子)
- 少し前まではたばこを吸って見たかったけど、今日の学習を通してたばこを吸わないよ  
 うにしようと思います。あと、福島県の喫煙率がワースト1位だと知ってとてもびっくり  
 しました。(男子)
- 1日に(受動喫煙のために)40人くらい命を落としている。3人に1人ががんで亡く  
 なっているってことはこのクラスで例えると10人ががんで命を落としているとい  
 うことです。がんにならないために努力したい。(男子)
- 日本では受動喫煙で1日41人、年間15,000人も亡くなる。少しでも周りの人に  
 たばこを吸わないでほしいことを呼びかける行動をしたい。「たばこを吸っている人のけ  
 むりを吸ってがんになる」ことに自分になりそうなので親に吸わないようにしてと伝えたい。  
 家族に広めて家族が知り合いに広めてがんで死亡する人が減らせるといい。(女子)
- たばこは吸っている人にもよくないし、受動喫煙やシーツやソファなどについた煙を吸  
 う残留喫煙があるのでとても危険だということがわかりました。(男子)
- けんこうにいい食事や運動をしっかりすることを心がけたい。また周りにたばこを吸っ  
 ている人がいたら今日習ったことを教えていきたいです。(女子)

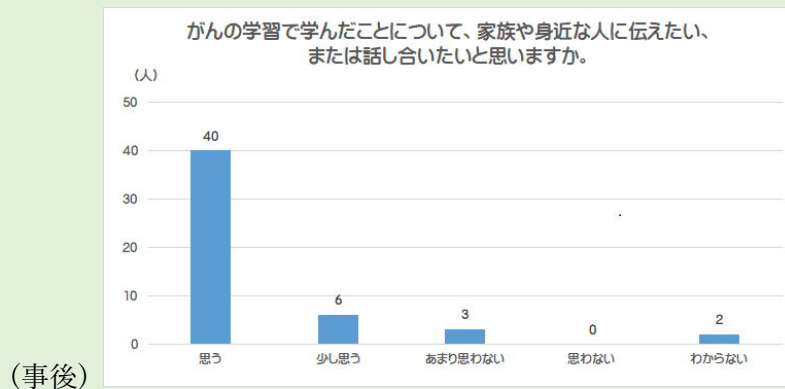
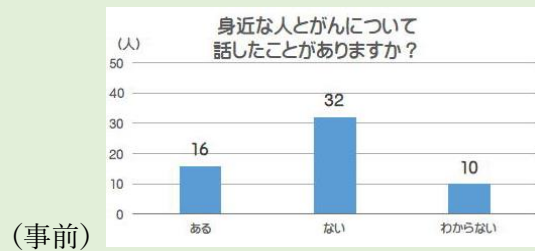
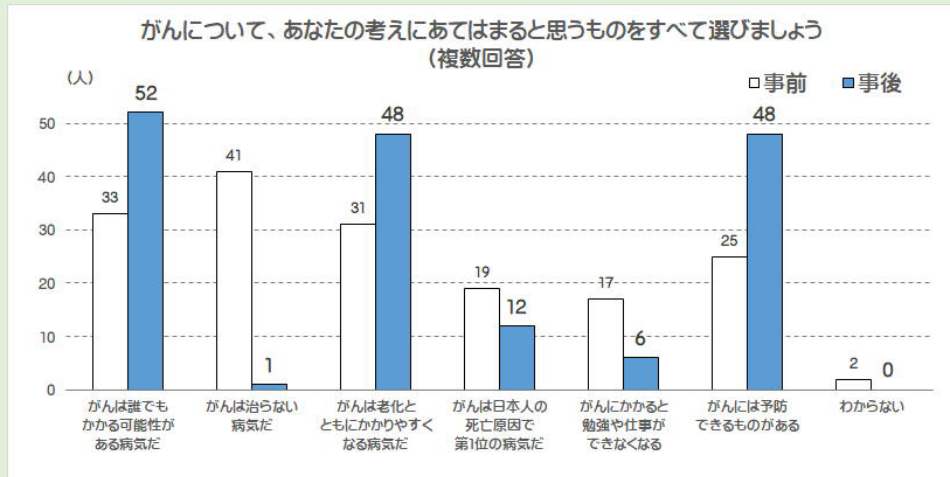
成果等



- 自分もたばこを吸わないようにしたい。周りにがんの人がいるので、ふつうに接するよ  
 うにしたい。この学習でがんについてたくさんを知りました。(女子)
- とくにおどろいたことは、日本で一番たばこを吸っている県が福島県だということ  
 です。がんの学習をする前はがんのことがわからなかったけど、わかるようになってよかつ  
 たです。(男子)

- 今までのがんのイメージが今回の学習でとても変化しました。前までは高齢者にしかがんはおきないと思っていたけれど、どの年れいでもなることがわかりました。(男子)
- ぼくはこのがんのお話を聞いて心配なことがひとつなくなりました。がんは治せないと思っていましたが、治療方法があることがわかりました。なので、ぼくも生活習慣に気をつけて、大切な人にも伝えていきたいです。(男子)
- 新型のたばこはいいと思っていたのに、実験(の映像)を見るとよくないことがわかりました。(女子)
- 福島県は喫煙率が全国1位です。すごく残念でした。ただ、これから喫煙者を減らすためにいろいろ努力して少しでも減っていったらうれしいです。(男子)
- ぼくのお父さんがお酒とたばこをやっているの、やめたらと、家に帰ったらいいたいです。(男子)
- ワクチンの接種、たばこを吸わない、お酒を飲まないことを心がけたいです。(女子)
- たばこを吸わない、ワクチン、検診、お酒をやめることが大切。この4つは自分でできること。わたしはなるべくたばこを吸わないようにしたいです。(女子)

※授業前・授業後のアンケート結果の比較 一部抜粋  
(5年生67名中54名が回答 2023.12~2024.1)



**【外部講師を利用して】**

○昨年度に続いて齊藤道也先生のお話をいただくことができ、子どもたちにとって貴重な学びの時間となった。専門的立場から、子どもたちに疑問を湧かせて科学的根拠を示しながら納得へ導き、子どもたちは様々な視点から「がん」という病気について考えることができたと感じる。

○がんについての知識・関心は、身近ながん経験者の有無などにより個人差が大きい。そのため講師を依頼するにあたり、診断・治療はもとよりその後の患者や家族の心や生活に寄り添う医師の話聞いて、がんについての理解を深めて欲しいと考えた。

多くの子どもたちがワークシートにびっしりとメモを取り、授業後の感想からもそれぞれの理解の深まりを感じた。実施してよかった。

○齊藤先生は診察室そのままの服装で「郡山で育ち、郡山で活躍して欲しい、できれば私たち医療従事者の仲間になってくれたらうれしい」と語りかけ、キャリア教育の側面にも触れていただけたと感じる。

**【課題】**

・PCとTVをつなぐケーブルで、事前の確認が不足し「Type-C」のHDMI変換ケーブルの準備に手間取り開始時間が遅れた。

・授業者側からの依頼による授業前と授業後のアンケート記入時間が不足していた。子どもたちはもっと時間をかけて記入したかったようだ。書き切れずに途中で回収となった児童も多かった。

可能であれば、事前にアンケート用紙を送付してもらい、事後アンケートも授業の後に時間を取って記入させ、まとめたものを郵送等で送付することも考えられる。アンケート実施担当者が同行された看護師の方で、講師と別の医療機関で勤務されているため事前のやりとりができなかった。講師にアンケートの件を確認すればよかったかもしれない。